



アジアにおけるリタイアメントの新創造：世界的エイジレス社会の到来と未知のニーズ（仮題、Reinventing Retirement Asia: Enhancing The Opportunities of Aging）

国際連合大学 UN ハウス
エリザベス・ローズ国際会議場
東京（日本）

2007年3月14日（水）～3月16日（金）

AARP（全米退職者協会）は、アジア社会の退職、高齢化する人口、および退職者と高齢労働者の生活の質に関連する問題への対応を検討する目的で、2007年3月14日から16日まで、東京にて国際会議を開催します。「アジアにおけるリタイアメントの新創造：世界的エイジレス社会の到来と未知のニーズ（仮題、Reinventing Retirement Asia: Enhancing The Opportunities of Aging）」は、様々な国々が退職および高齢市民のニーズと才能にいかに関わり、対応しているかを検証する、一連のシンポジウムの第3弾になります。

本会議において、AARPは日本側主催者であるJANCA（高齢社会NGO連携協議会）による後援を受けています。会議は東京都心にある国際連合大学ビルで開催されることになっており、同ビルには国連人口基金も開設されています。

「アジアにおけるリタイアメントの新創造」は、数ある国々の中でも特に、中国、インド、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、日本および米国からのハイレベルの代表者を含め、アジア全域から政府、NGO、学界および企業の主要な意思決定者・世論形成者を結集します。技術実証およびその他の対話型活動を含む一連のパネルディスカッションとワークショップを通して、参加者は下記を検討します：

- 膨大な高齢労働者の人的資源の開発
- 退職者の地域社会参加への融合
- 退職所得均衡政策：国、雇用主、および個人
- 家族関係：高齢者にとっての家族構成の役割変化
- 医療保障へのアクセスと手頃な価格の確保
- 高齢者市場の力：高齢消費者にとっての選択とエンパワーメント

AARP は、本会議が地域協力のきっかけとしての役割を果たし、また米国と、世界で最もダイナミックかつ急速な成長（および高齢化）を遂げているいくつかの社会との間での、意見および最優良事例の交換を促進することを期待しています。